

Title	開会の辞
Author(s)	康, 仁徳
Citation	聖学院大学総合研究所紀要, 第50号別冊 日・韓国際学術シンポジウム「東アジアの平和と民主主義」特集号, 2011.3 : 18-19
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=3178
Rights	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository for academic archiVE

開会の辞

康 仁 徳

皆様、こんにちは。本日このシンポジウムの司会・進行役を務めさせていただきます、極東問題研究所の康仁徳と申します。本日のタイトルは、ご覧いただいておりますように、「東アジアの平和と民主主義——北朝鮮問題と日韓の役割」となっております。この大きなテーマのもとでシンポジウムを、東京で七回、韓国のソウルで一回、計八回にわたり開催しました。本日は九回目となっております。もちろんその都度ごとに情勢の変化に伴って取り上げるテーマは変化してきました。本日は特に北朝鮮問題と日韓両国の役割を中心にしまして、シンポジウムを開催します。主催者は日本のキリスト教大学である聖学院大学総合研究所、韓半島平和研究院、極東問題研究所、合わせて三つの研究所が共同でこの会を開

催することになりました。

また、このシンポジウムはこれまで日本の諸団体のご協力を得まして開催させていただいています。日本・国際交流基金から七回にわたる支援をいただきました。一回は日本の外交クラブと言える東京倶楽部から支援していただきました。今回も東京倶楽部からご支援いただいております。今回ありがたいことは、統一省から我々のために物心両面からご支援いただいたことです。(統一省)長官にもお越しいただいております。再びお礼を申し上げます。

実はこの会を準備する段階では、北朝鮮で党代表者会を開催するということでしたので、それが終わりましたらそれなりにいい議論の種になるのではないかと思いましたが、しかし、一カ月延期になったということで残念ですが、このような状態の中でシンポジウムを開催することとなりました。

それでは小田川興先生に司会のマイクをお渡ししまして、先生方をご紹介いただきます。お忙しい中、ヒョンインテク文仁澤統一省長官がわざわざお越しくださいました。政府とし

てのお話をいろいろとお話しいただけると期待しております。時間の関係上、まず玄仁澤長官にお言葉を賜りたいと思います。皆様、拍手でお迎えください。(拍手)